

猫感染症健康セット

▶ 感染のチェックのためのセット検査です。

セット名	項目	検査材料	送付方法	所要日数	検査項目の説明、注意事項
Fセット	FIV 抗体 FeLV 抗原 FCoV 抗体 (定性)	 血清 (血漿) 0.2mL	常温 冷蔵 △	5日 以内※1	1. 家猫以外の猫科動物 (ライオンやチーターなど) の場合、若干検出感度が低下することがあります。 2. FeLV 抗原は外環境において失活しやすい傾向があるため、夏季には速達郵便や宅急便で送付することをお勧めします。
				5日 以内※1	
Tセット	FIV 抗体 FeLV 抗原 FCoV 抗体 (定性) トキソプラズマ抗体	 血清 (血漿) 0.3mL			

猫のワクチン効果判定検査

▶ ワクチン効果の判定のための検査です。

検査項目名	項目	検査材料	送付方法	所要日数	検査方法	検査項目の説明、注意事項
猫ワクチン セット Vセット	FPV 抗体 FCV 抗体 FHV-1 抗体	 血清 (血漿) 0.1mL	常温 冷蔵	5日 以内※1	FPV : HI FCV : IP FHV-1 : IP	1. 感染診断に利用できません。 2. FCV と FHV-1 ワクチンは基本的に発症を軽減するもので (相対的防御)、十分なワクチン効果を得られていても感染により症状を呈する場合があります。 3. 裏面の【結果の解釈】は一般的なものです。特に FCV、FHV-1、FPV でワクチン接種が必要と考えられる場合はワクチン会社にお問い合わせ、またはワクチン会社発行の技術資料を参照の上ご判断ください。
FPV HI 抗体検査		 血清 (血漿) 0.1mL	常温 冷蔵	4日 以内※1	HI	
FPV 中和抗体 検査		 血清 (血漿) 0.3mL	常温 冷蔵 FAX TEL	14日 以内※1	中和試験	1. 弊社 V セットまたは FPV HI 抗体検査で FPV 抗体価が 10 倍または 10 倍未満の場合のみ FPV 中和抗体検査を実施させていただきます。 2. FPV HI 抗体価 20 倍以上の場合および FPV 中和抗体検査のみについては受付できません。 3. 基本的に検査材料は弊社に保存しているものを供試いたします。

※1 弊社受付日を0日とした営業日換算 (土、日、祝日、弊社指定休日を除く)

検査ご利用に
 病理検査
 犬ワクチンセット
 犬感染症検査
 猫感染症健康セット・猫ワクチンセット
 猫感染症検査
 薬物検査
 生化学・内分泌セット検査
 生化学検査
 内分泌検査
 その他の検査

猫ワクチンセット検査

【結果の解釈】

16 週齢以上			
FPV	FCV	FHV-1	コメント
20 未満	400 以下	200 以下	ワクチン効果が十分とは言えません。
20 ～ 40	800 ～ 1600	400 ～ 800	ワクチン効果が期待できる抗体価です。しかし、長期間の効果を期待するにはもう少し高い抗体価が望ましいでしょう。1 年後にワクチンを追加接種されるか、抗体検査を実施されることをお勧めします。
80 以上	3200 以上	1600 以上	長期間のワクチン効果の持続が期待できる抗体価です。

12 週齢			
FPV	FCV	FHV-1	コメント
20 未満	400 以下	200 以下	ワクチン効果が十分とは言えません。
20	800 ～ 1600		移行抗体の可能性があります。可能であれば、ワクチンの再接種をお勧めします。
40	3200 ～ 6400	400 ～ 800	ワクチン効果ありと判断できる抗体価ですが、移行抗体の可能性も否定できません。1 ヶ月後の再検査をお勧めします。(移行抗体は 1/4 程度に低下します)
80 以上	12800 以上	1600 以上	長期間のワクチン効果の持続が期待できる抗体価です。

FPV、FCV、FHV-1の各月齢における移行抗体との区別にはワクチン接種済みの健康猫100頭の抗体価を測定し、そこで得られた最高の値をもとに移行抗体の半減期から算出したデータを利用しています。

- ① ごくまれに基準値を上回る血中抗体価であっても、ストレスや、ステロイド剤や免疫抑制剤の服用により防御が十分働かないケースがあります。また、もし将来的に流行ウイルスが変異することがあれば、既存のワクチンでは十分な予防効果が期待できなくなる可能性も否定できません。
- ② 弊社がご提供している基準値は、過去に研究者たちが提唱した値を参考にして最も妥当と考えられる値に設定されております。また、本基準値は弊社の検査系に対するものであり、他社の検査結果には適用することができませんのでご注意ください。

FPV HI 抗体検査および FPV 中和抗体検査

【結果の解釈】

			コメント
FPV HI 抗体検査	20 未満		ワクチン効果が十分とは言えません。
	20 ～ 40		ワクチン効果が期待できる抗体価です。しかし、長期間の効果を期待するにはもう少し高い抗体価が望ましいでしょう。1 年後にワクチンを追加接種されるか、抗体検査を実施されることをお勧めします。
	80 以上		長期間のワクチン効果の持続が期待できる抗体価です。
FPV 中和抗体検査	32 以上		現時点で防御可能な抗体価です。しかしながら、FPV HI 抗体検査または猫ワクチンセット V セットで不十分な抗体価であったことから、1 年以内にワクチンの追加接種または抗体検査（まずは HI 抗体検査）をお勧めします。

- ① ごくまれに基準値を上回る血中抗体価であっても、ストレスや、ステロイド剤や免疫抑制剤の服用により防御が十分働かないケースがあります。また、もし将来的に流行ウイルスが変異することがあれば、既存のワクチンでは十分な予防効果が期待できなくなる可能性も否定できません。
- ② 弊社がご提供している基準値は、過去に研究者たちが提唱した値を参考にして最も妥当と考えられる値に設定されております。また、本基準値は弊社の検査系に対するものであり、他社の検査結果には適用することができませんのでご注意ください。